

2015年2月6日 レノバは、2016年春の運転開始に向け、大津町ソーラー発電所新設工事の起工式を執り行いました。

2015年02月06日

株式会社レノバ（旧商号 株式会社リサイクルワン、本社：東京都千代田区大手町、代表取締役社長：木南 陽介、以下「レノバ」）は、2015年2月6日レノバが共同事業者と行うメガソーラー発電所の建設予定地（所在地：熊本県菊池郡大津町大字矢護川字四ノ尾2903-6番地）にて起工式を執り行いました。

起工式には、大津町 町長 家入 勲様、熊本県議会議員 田代 国広様、地権者の皆様、大津町ソーラー発電所新設工事の関係者などのご臨席を賜り、工事の安全を祈願いたしました。

写真は起工式の様子です。



レノバは、既に茨城県潮来市にて共同事業による14MWのメガソーラー発電所、及び千葉県富津市にて同じく共同事業による40MWのメガソーラー発電所を運営しております。本件を含めまして、レノバが主導して開発を進めている運転中または建設中のメガソーラー発電所は7箇所合計約140MW相当となり、順調に事業化が進捗しております。

レノバは、平成26年1月より社名を新たにし（旧商号リサイクルワン）、再生可能エネルギー事業やリサイクル事業を推進しております（RENOVA：会社の理念であるReNewを意味する）。今後もメガソーラー事業をはじめとする再生可能エネルギー事業を積極的に展開し、安心、安全、そして低環境負荷のエネルギー供給体制の実現に貢献してまいります。